

あきた建設女性ネットワークによる女性の活躍推進事業 【秋田県】

個別事業費	167 千円
交付金額	83 千円

地域の実情と課題

- 建設業は、地域の経済・雇用を支える基幹産業の一つであり、社会資本の整備はもとより、災害や除雪への対応等を通じて、県民の安全・安心の確保に重要な役割を果たしている。
- 建設労働者の高齢化と新規入職者の減少により、深刻な担い手不足が懸念される状況にあり、特に、女性就業者の割合が13.7%（令和2年国勢調査）と、主要産業の中で最も低く、他産業と比べて女性の進出が大きく立ち後れている。

事業の特徴

- 建設産業団体等と連携し、建設産業における女性活躍を推進するプラットフォームとして「あきた建設女性ネットワーク」を創設
- 建設産業団体と連携し、活動報告やパネルディスカッション等を行う交流会を開催
- 建設DXに関する最新技術やけんせつ女子を含む建設産業全般の取組について一般県民にPRするイベント（県事業）に出展し、女性も働きやすく活躍している産業であることを周知

事業の効果

- 県内の建設産業で活躍する女性のネットワーク化が進み、県内全域で8団体の女性部が設立し、女性ネットワークの会員数が増加（平成30年10月設立当初85名 → 令和6年末時点221名）
- 建設産業において女性活躍の取組が進み、県内の建設業に就職する女子高校生が着実に増加（平成30年3月卒業 7名 → 令和7年3月卒業 25名）
- 建設業における女性労働者の割合が少しずつ増えており、着実に女性が活躍できる職場であることが浸透

目的・目標

- 建設業における女性労働者の割合

目標値：平成31年（平均値）：14.3% → 令和7年：18.0%
 実績値：令和2年16.5%、令和3年16.7%、令和4年19.1%、令和5年16.3%、令和6年15.5%

連携団体

- 建設産業団体
- 各地域建設業協会
- 建設企業
- 市町村等

今後の課題

- 関係団体との連携を深め、働きやすい職場環境の推進や建設産業の魅力発信等に関する取組を強化し、引き続き建設産業のイメージアップや人材の確保・育成を図る。
- あきた建設女性ネットワークによる意見交換会等の開催により、会員同士の交流拡大を図るほか、会員の意欲向上を図り、入職者離職防止にも取り組む必要がある。

事業の概要

■ あきた建設女性ネットワーク「クローバー」の設立

地域毎・業種毎の女性ネットワークを「繋ぎ合わせ」、他の地域・業種への「拡大」を図り、建設産業で活躍する女性の姿を「PR」するため、地域・業種の垣根を越えた広域的なネットワークとして、あきた建設女性ネットワーク「クローバー」を設立



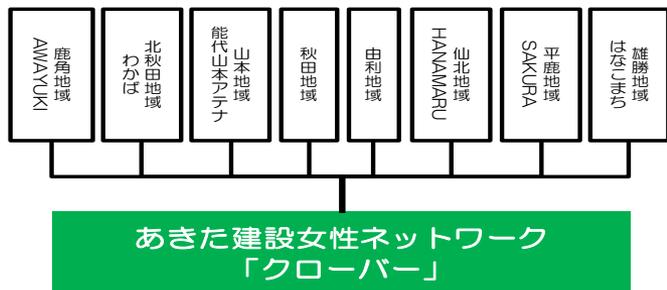
■ 地域・業種単位での女性ネットワークの設立

・県内の建設会社で働く女性が中心となり、建設産業で活躍している女性のネットワーク化を推進
 ・本県の最大の特徴として、地域毎・業種毎のネットワークが非常に活発



<地域ネットワーク>【交付金事業外】

- ◎ 平鹿建設業協会女性部「SAKURA(さくら)」
事業: 学校を工事する建設女子と高校生 等
- ◎ 雄勝建設業協会女性部会「はなこまち」
事業: 建設業体験フェスタ、SNS講習会 等
- ◎ 秋田県仙北建設業協会女性部会「HANAMARU(はなまる)」
事業: 園児向け建設重機体験学習会 等
- ◎ 北秋田建設業協会建設女子部会「わかば」
事業: 女子小中学生向け現場体験会、研修会 等
- ◎ 能代山本建設業協会女性部会「能代山本アテナ」
事業: 建設業PRイベント、中学生向け職業体験会 等
- ◎ 秋田中央建設業協会女性部会
事業: 建設業で働く女性の交流会、高校出前講座 等
- ◎ 由利建設業協会女子会
事業: 現場見学会、高校出前説明会等
- ◎ 鹿角建設業協会女性部「AWAYUKI」
事業: 建設業で働く女性の交流会、高校出前講座 等



■ あきた建設女性ネットワーク「クローバー」の活動内容

◎あきた建設産業女性交流会

建設分野で活躍する女性技術者等が集い、各地域の建設業協会女性部や企業の先駆的な取組や活動の紹介、経営者層とのパネルディスカッション等を行う交流会を開催し、あきた建設女性ネットワークの交流を拡大

参加者集合写真



活動報告会



パネルディスカッション



会場の様子



◎PRイベントへの出展

県事業において実施した、建設産業全般の取組について一般県民にPRするイベントに出展し、建設産業のイメージアップと人材確保に向け、女性も働きやすく活躍している産業であることを周知

重機ラジコン操作体験



女性技術者紹介パネル展示

